

〔調査報告〕 八丈島菊池家祭祀祈願文目録

土屋 久（倫理研究所客員研究員）

一、本目録について

本目録は、八丈島の神職、菊池孝光氏（昭和29年生まれ）が所持する祭祀祈願文の目録である。

孝光氏は、22歳の時（昭和51年頃）から八丈島、八丈小島、青ヶ島の総鎮守社である優波夷宝明神社を始めとした数社の宮司を務め、現在（平成23年）に至っている。本目録に収録されている祭祀祈願文は、主に、孝光氏の父である菊池義光氏（明治34年 昭和48年）と叔母の広江トミカ氏（明治39年 平成14年）が巫儀において用いたものである。義光氏とトミカ氏は兄妹で、ともに青ヶ島出身。両者は、それぞれ青ヶ島から八丈島に渡り、義光氏は不羈として、トミカ氏は巫女として、八丈島で活躍された。この両者は、共同で巫儀をおこなう場合が多かったようだが、その際、義光氏が祭祀祈願文を読み上げ、トミカ氏が神がかかるという役割分担があったようである。義光氏が亡くなった後は、トミカ氏が一人で、巫儀を執りおこなったとのことである。